

データでみる大正大学

2011

平成23年4月1日▶平成24年3月31日



学校法人 大正大学
理事長 杉谷 義純

存在感のある大学をめざして

平成23年度は、まず3月11日に発生した東日本大震災の影響によって、入学式を4月25日に延期せざるを得なかったことから始まりました。そのため在学生の授業開始も5月の連休明けとなり、その間は自主学习並びにレポートの提出を課すなど、学生対策は万全をとりました。一方震災支援のため教員、職員、学生の3者による合同プロジェクトを立ち上げ、4期にわたって南三陸町に派遣、又後方支援として東京で募金活動を展開するなど、本学が掲げるT S Rシップ（社会的責任）の一端を展開したのであります。さらにはこの支援が一時的なものでなく、長期的に支援と学習が可能な南三陸研修センター構想が生まれ、24年度での具体化が実現する予定です。

さて創立90周年を目途としてキャンパス整備事業は着実に進捗し、4月の新学期から新3号館に、仏教学部、総合佛教研究所、表現学部、歴史学科が入り活用されています。さらに4月当初に5号館と宗教施設の地鎮式が挙行され、25年3月の落成をめざしています。そして宗教施設（観音堂）を媒介とした地域との連繋が大いに期待されることになるでしょう。ここ数年キャンパスは建設工事の連続ですが、技術の発達による騒音の減少や工事のスピード化によって、安全面の確保と共に極力授業に及ぼす影響を少なめに押えることに努めてきました。今後もその点に気を配り学生の負担を少なくしていきます。

一方受験者数の動向をみますと、平成20年には3000人と長期低落のピークに達しましたが、21年度から反転、毎年20%増加することによって平成23年は6000人に達する勢いを示しました。しかし24年入学の受験者は微増に留まり楽観は許されなくなりました。学生に魅力のあるコース設定や満足度の高い授業内容など、緊張感を持って対応することが余儀なくされています。しかしながら本年度は、文部科学省から120人の定員増が認められ、1135人の入学者を数えたことは、安定的経営をめざす5000人規模の中堅大学に一步近づいたといえましょう。

とはいえ、単に経営の安定化をめざすだけでなく、社会的存在として大学の意義を発揮できなければやがて淘汰される危険にさらされるであります。今まで聖域といわれていた大学も、それだけ激しい時代の荒波が押し寄せてきているのであります。そこで本学としては、平成21年に、平成28年の創立90周年をめざして制定した中期マスタープランを総点検した結果、達成度の高いところからさらなる目標値を上げた、第二次中期マスタープランを構築し、24年度への道標とすることとしました。

財務関係については、決算報告書に見られる通り、比較的安定的に推移しています。しかし、キャンパス整備事業が続いているところから支出も少なくなく、バランスのとれた財務状況を続けられるよう注意深く心がけています。又鴨台会への勧募活動については、震災の影響もあって慎重に取り扱われていましたが、年度後半から次第に積極的に進められることになり、24年度は関係各位の大いなるご協力をいただきたく、よろしく願いいたします。

Topics

■「キャンパス整備状況」

新3号館竣工

平成24年3月に新3号館が竣工しました。

教室や研究室は、ガラス張りになっており、学生にオープンな学びの場を提供しています。また、2階、3階をつなぐかたちで造られた階段教室は、席数70で手前のステージも広く、周囲の廊下からガラス越しに中の授業風景を見ることが出来ます。

地階には、プロが番組制作で利用できるくらいのプロユース仕様の設備が整ったスタジオなどを備えています。

また、2012年度グッドデザイン賞（主催：財団法人日本産業デザイン振興会）を受賞し、「モダンでありながら仏教大学らしい品格を醸し出している」と高い評価を受けました。



「2012年度グッドデザイン賞」受賞

TSRシップ鴨台ボランティアプロジェクト

平成23年3月11日の東日本大震災に際して、TSR（大正大学の社会的責任）シップのもと、宮城県南三陸町において教員・職員・学生延べ150名が震災後間もない4月10日から4月23日にわたって組織的なボランティア活動を行い、後方支援として池袋・巣鴨における街頭募金活動を行いました。



結団式



資金収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,011,664	4,020,029	△8,365
手数料収入	149,022	145,827	3,194
寄付金収入	680,250	664,143	16,106
補助金収入	559,516	572,077	△12,561
資産運用収入	34,000	34,149	△149
事業収入	10,899	12,500	△1,601
雑収入	77,323	85,627	△8,303
前受金収入	1,012,000	1,148,245	△136,245
その他の収入	2,331,518	2,273,978	57,540
資金収入調整勘定	△1,155,195	△1,209,583	54,388
前年度繰越支払資金	2,183,475	2,183,475	—
収入の部合計	9,894,474	9,930,471	△35,997

支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,642,111	2,530,556	111,555
教育研究経費支出	1,176,926	1,090,559	86,367
管理経費支出	667,641	567,552	100,089
施設関係支出	2,977,013	2,260,431	716,581
設備関係支出	182,435	736,091	△553,655
資産運用支出	1,825,906	1,828,648	△2,741
その他の支出	289,183	327,519	△38,336
[予備費]	(21,431)	23,568	—
資金支出調整勘定	△1,147,012	△936,428	△210,584
次年度繰越支払資金	1,256,699	1,525,541	△268,841
支出の部合計	9,894,474	9,930,471	△35,997

注記 予備費(21,431千円)の使用額は次のとおりである。

退職金支出	8,456千円	管理) 印刷製本費支出	374千円
教育) 印刷製本費支出	1,500千円	管理) 渉外費支出	1,800千円
教育) 厚生費支出	5,160千円	管理) 委託費支出	1,200千円
教育) 委託費支出	2,940千円		

資金収支計算書は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、全ての収入・支出の内容を明らかにし、且つ支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

資金収入と資金支出の差額である次年度繰越支払資金は、15億2,554万1,066円となり予算を2億6,884万1,878円上回りました。

収入面では、ほとんどの収入科目で予算を上回りました。前年度比でも、ほとんどの収入科目で収入増となっております。

なかでも、学生生徒等納付金収入は、平成20年度から段階的に施設設備費を増額、また22年度から授業料の改訂を学部・学科の特性により実施しており、この効果として前年度比2億円増となりました。

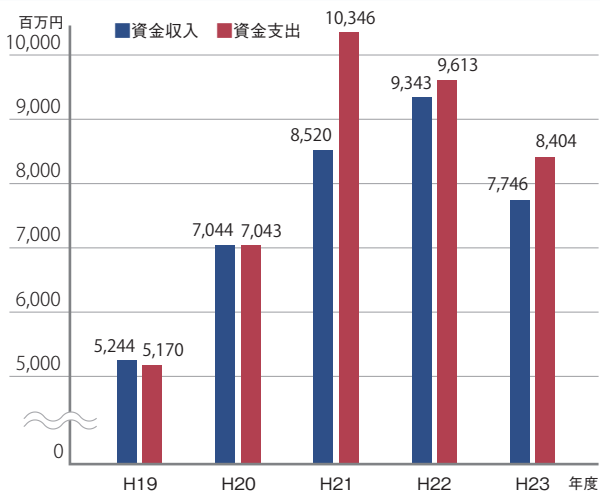
また、補助金収入は経常費補助金に加えて、新3号館の教育設備に対する補助、また、TSRマネジメントが「未来的経営戦略推進経費(経営基盤強化に貢献する先進的な取組)」に採択され、前年度比1億円の増となりました。

支出面では逆に、ほとんどの勘定科目で予算額を下回る結果となりました。

平成23年度の支出の中で、3月11日に発生した東日本大震災に伴い、被災地出身学生支援として、授業料等の免除や修学支援を行ったこと、また、被災地の現地ボランティア活動として、宮城県南三陸町へ震災1か月後の4月10日から4月22日まで13日間、学生・教職員延べ150人を派遣したことが特筆するものであります。

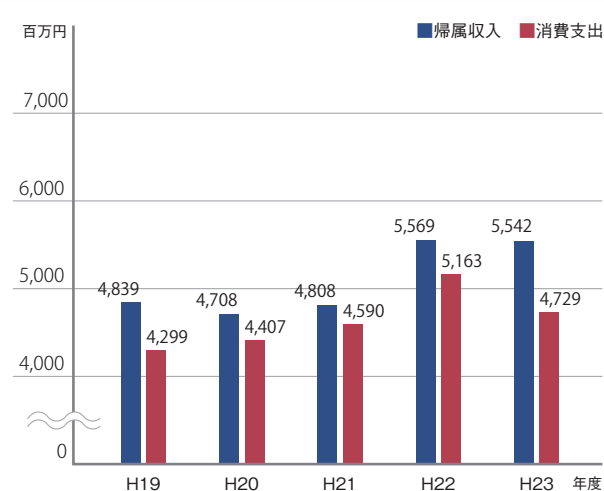
また、平成24年3月に竣工した新3号館の建築代金として22億円、スタジオ設備等の機器備品支出6億円が支出の主なものとなります。

資金収支の推移



(注) 資金収支の推移の「資金収入」は資金収支計算書の「収入の部合計」から「前年度繰越支払資金」を控除した金額であり、「資金支出」は「支出の部合計」から「次年度繰越支払資金」を控除した金額です。

消費収支の推移



消費収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

消費収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	4,011,664	4,020,029	△8,365
手数料	149,022	145,827	3,194
寄付金	680,250	672,191	8,058
補助金	559,516	572,077	△12,561
資産運用収入	34,000	34,149	△149
事業収入	10,899	12,500	△1,601
雑収入	77,323	85,627	△8,303
帰属収入合計	5,522,674	5,542,404	△19,729
基本金組入額合計	△3,069,859	△2,129,910	△939,949
消費収入の部合計	2,452,815	3,412,494	△959,678

消費支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,590,530	2,486,365	104,164
教育研究経費	1,626,926	1,560,843	66,082
管理経費	717,641	581,836	135,804
資産処分差額	109,590	99,978	9,611
[予備費]	(12,974)	32,025	—
消費支出の部合計	5,076,713	4,729,024	347,688
当年度消費支出超過額	2,623,898	1,316,530	—
前年度繰越消費支出超過額	4,103,733	4,103,733	—
翌年度繰越消費支出超過額	6,727,631	5,420,264	—

注記 予備費（12,974千円）の使用額は次のとおりである。

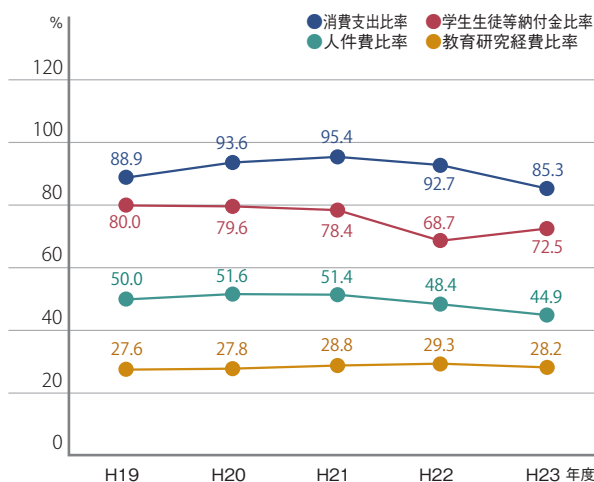
教育）印刷製本費	1,500千円
教育）厚生費	5,160千円
教育）委託費	2,940千円
管理）印刷製本費	374千円
管理）渉外費	1,800千円
管理）委託費	1,200千円

消費収支計算書は、当該会計年度における消費収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状態が健全であるかどうかを示すもので、計算目的に違いはありますが、いわば企業会計の損益計算書にあたるものであります。

帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、事業収入及び雑収入の法人に帰属する負債とされない収入で資金収入の当該科目とほぼ同額であります。帰属収入55億4,240万4,277円から基本金組入額を控除した消費支出に充当することができる消費収入は34億1,249万4,165円となりました。

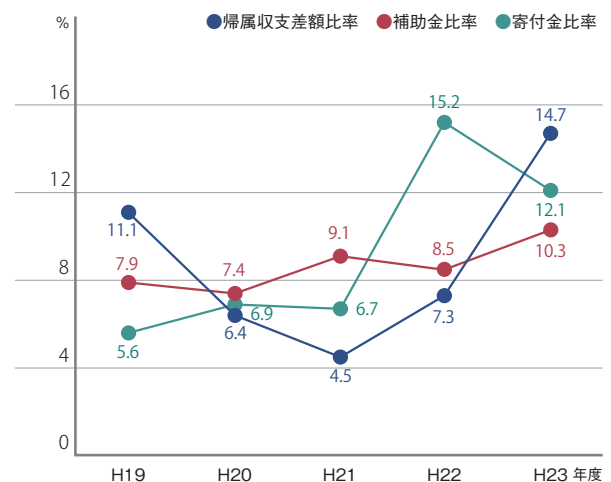
消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費で、47億2,902万4,784円となりました。この結果、平成23年度決算における帰属収支差額は8億1,337万9,493円の収入超過（黒字）、消費収支差額は13億1,653万619円の支出超過（赤字）となりました。消費収支差額が支出超過（赤字）となったのは、校舎建築に伴い基本金組入額が21億2,991万112円であったことが要因です。

消費収支関係財務比率の推移 ①



消費支出比率=消費支出/帰属収入
 学生生徒等納付金比率=学生生徒等納付金/帰属収入
 人件費比率=人件費/帰属収入
 教育研究経費比率=教育研究経費/帰属収入

消費収支関係財務比率の推移 ②



帰属収支差額比率=(帰属収入-消費支出)/帰属収入
 補助金比率=補助金/帰属収入
 寄付金比率=寄付金/帰属収入

貸借対照表

平成24年3月31日

資産の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	21,195,889	18,966,034	2,229,855
有形固定資産	17,826,364	15,450,455	2,375,908
その他の固定資産	3,369,525	3,515,578	△ 146,052
流動資産	1,786,152	2,472,013	△ 685,860
合 計	22,982,042	21,438,047	1,543,994

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部	3,271,460	2,540,845	730,615
固定負債	1,159,614	1,210,575	△ 50,961
流動負債	2,111,846	1,330,269	781,576
基本金の部	25,130,845	23,000,935	2,129,910
消費収支差額の部	△ 5,420,264	△ 4,103,733	△ 1,316,530
合 計	22,982,042	21,438,047	1,543,994

(注1)

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
減価償却額の累計額の合計	6,962,299	6,513,619	448,679

(注2)

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金未組入額	748,563	24,800	723,763

※基本金未組入額は翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額です。

有形固定資産は、新3号館等の建設による建物及び図書購入による資産増加、除却及び減価償却による資産減少を加減した結果、前年度比23億7,590万8,541円増加しました。

その他の固定資産は、鴨台会（同窓会）から寄託された社債運用による1億円増加、新3号館建設費等支払いのために大学整備費引当特定資産を3億円取り崩した減少を加減した結果、前年度比1億4,605万2,818円減少しました。

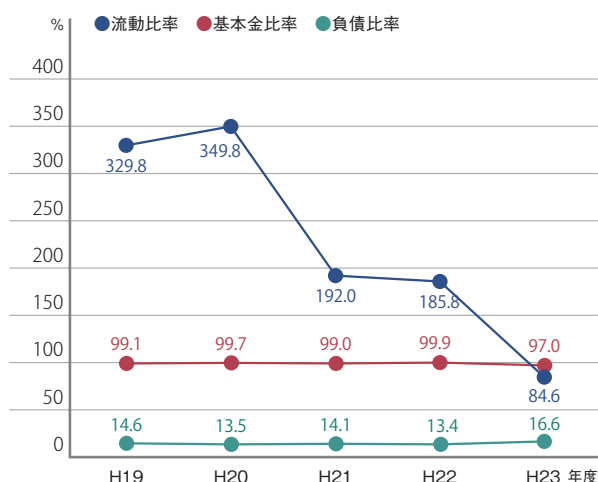
流動資産は、建設・設備費支払による現預金減少を主に前年度比6億8,586万803円減少しました。

一方負債の部では、短期未払金が9億925万5,870円となりました。これは、新3号館設備・スタジオ備品等の未払いが主な理由です。

基本金については、新3号館等の建物が増加したことにより、第1号基本金が前年度比21億991万112円の増加、第3号基本金が前年度比2,000万円の増加となりました。

この結果、正味資産が197億1,058万1,660円となり、前年度比8億1,337万9,493円増加しました。

貸借対照表関係財務比率の推移



流動比率 = 流動資産 / 流動負債 基本金比率 = 基本金 / 基本金要組入額
 負債比率 = 総負債 / 自己資金 (= 基本金 + 消費収支差額)

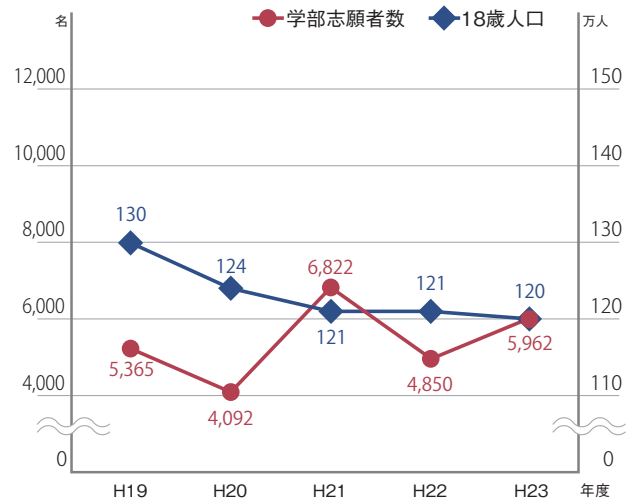
学部・学科別志願者数・合格者数・入学者数

平成23年度

(単位：名)

学 部	学科・専攻	志願者数	合格者数	入学者数
仏教学部	仏教学科	230	181	124
	計	230	181	124
人間学部	アーバン福祉学科	321	186	94
	人間環境学科	272	112	71
	臨床心理学科	829	199	100
	人間科学科	775	286	132
	教育人間学科	370	170	85
計	2,567	953	482	
文学部	人文学科	1,031	281	123
	歴史学科	1,108	353	168
	計	2,139	634	291
表現学部	表現文化学科	1,026	316	157
	計	1,026	316	157
合 計		5,962	2,084	1,054

学部志願者数・18歳人口の推移



※H21年度までは延べ人数で表示。H22年度は実人数で表示。

学部・大学院別定員・学生数等

平成23年5月1日現在

学部学生数

(単位：名)

学 部	入学定員	収容定員	編入学定員	学生数
仏教学部	100	200	0	237
人間学部	395	1,860	72	2,247
文学部	235	1,050	18	1,318
表現学部	130	260	0	308
合 計	860	3,370	90	4,110

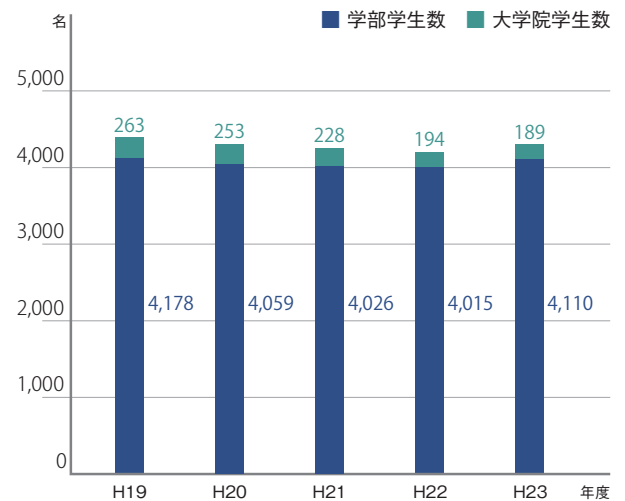
(注)人間学部人間環境学科設置、教育人間学科設置(平成23年4月)

大学院学生数

(単位：名)

研 究 科	博士前期課程 (修士課程)			博士後期課程		
	入学定員	収容定員	学生数	入学定員	収容定員	学生数
仏教学研究科	40	80	50	7	21	27
人間学研究科	30	78	44	3	15	8
文学研究科	40	90	47	12	36	13
合 計	110	248	141	22	72	48

学生数の推移



教職員数

平成23年5月1日現在

教員数(専任教員)

(単位：名)

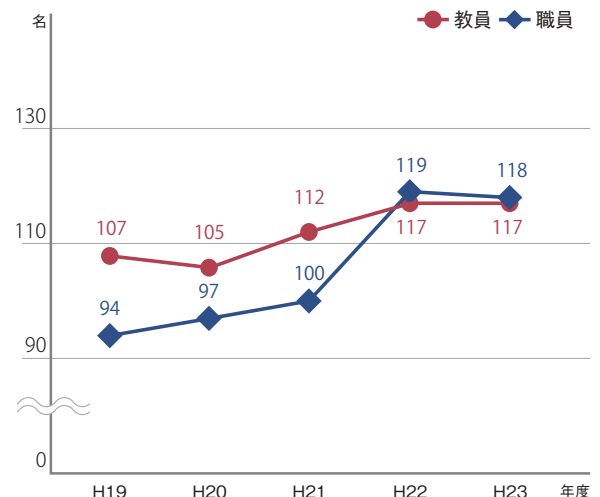
	教授	准教授	専任講師	助教	合計
仏教学部	16	6	4	0	26
人間学部	30	12	5	0	47
文学部	23	5	2	0	30
表現学部	9	2	2	1	14
合 計	78	25	13	1	117

職員数

(単位：名)

	専任	常勤嘱託	合計
	81	37	118

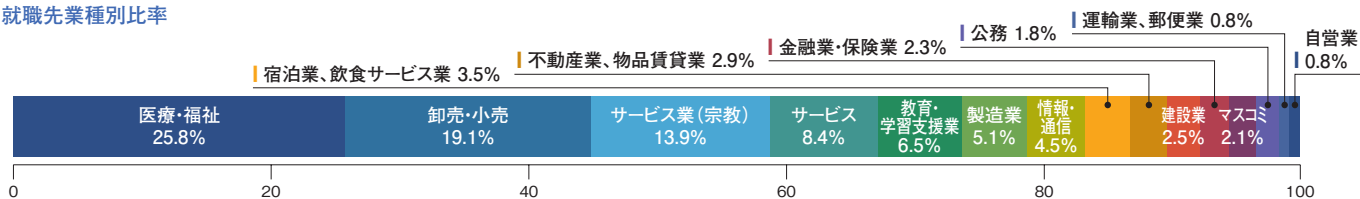
教職員数の推移



就職状況

平成24年4月30日現在

就職先業種別比率



主な就職先

医療、福祉業	(医)慈光会 東武丸山病院/(医)明精会/(医社)松弘会 三愛病院/(医社)SK会 蔡駒込医院/(医社)奎林会 光林堂歯科医院/(医社)常仁会 牛久愛和総合病院/(医社)桐和会/(医財)互恵会 大船中央病院附属歯科診療所/日本ステリ株/(社福)愛の泉/(社福)あいのわ福祉会/(社福)大泉旭出学園/(社福)恩賜財団東京都同胞援護会/(社福)こうほうえん/(社福)賛育会/(社福)至誠学会東京/(社福)青洲会/(社福)聖風会/(社福)清和園/(社福)清和会/(社福)千葉県福祉援護会/(社福)同愛会/(社福)東京蒼生会/(社福)東京都知的障害者育成会/(社福)とちのみ会/(社福)日本水上学園/(社福)北養会/(社福)マハヤナ学園/(社福)みずき福祉会/(社福)横浜共生会/(助)東京カリタスの家/アースサポート株/(株)ウイズネット/(株)木下の介護/(株)ケア21/(株)ニチケアパレス/(株)日本医療事務センター/ヒューマンライフケア株/(株)ベネッセスタイルケア/(株)らいふ/ワタミの介護株	教育、学習支援業	東京都教育委員会/千葉県教育委員会/長野県教育委員会/和光市教育委員会/静岡県立沼津特別支援学校(学)旭出学園 旭出養護学校/(学)九里学園 浦和実業学園中学校・高等学校/(学)加藤学園/(学)大正大学/(学)茶屋四郎次郎記念学園 東京福祉大学/(宗)祐天寺 祐天寺附属幼稚園/館林市立第一資料館/(株)臨海セミナー
卸売業、小売業	阿部興業株/アライ電機産業株/コヴィディエンジャパン株/(株)ジャパンビバレッジ/(株)ソーゴー/築地魚市場株/(株)ドウシヤ/ナイス株/(株)成田デンタル/(株)ナルミヤ・インターナショナル/(株)ニコル/(株)八洋/(株)ぱぱす/富士ゼロックス東京株/森川産業株/(株)安田念珠店/リコージャパン株/(株)AOKIホールディングス/(株)あさひ/(株)安藤/(株)伊東屋/(株)イトーヨーカ堂/茨城トヨペット株/(株)オカダヤ/(株)カワチ薬品/(株)くまざわ/(株)コモディイイダ/サミット株/(株)三徳/(株)島忠/田中興産株/絵里奈事業部/日産プリンス栃木販売株/(株)ノジマ/株)ハートウェル/(株)ピーシーテポコーポレーション/(株)ビームス/(株)ビックカメラ/ブックオフコーポレーション株/(株)フリーズインターナショナル/(株)ベルク/(株)マコト/(株)マルエツ/(株)三越伊勢丹/みよの台薬局グループ/(株)メガネトップ/(株)ヨドバシカメラ/(株)ライフコーポレーション/(株)ワイズマート/(生協)コープかながわ	製造業	(株)エフビコ/(株)オンワード樺山/(株)かわでん/桂新堂株/(株)昭和螺旋管製作所/(株)翠雲堂/大日化成株/(株)フジキン
サービス業	セレサ川崎農業(協)/かとり農業(協)/上都賀農業(協)/茨城むつみ農業(協)/北群渋川農業(協)/郵便局株/アルファクラブ武蔵野株/(株)クイック/(株)くらしの友/(株)スタジオアリス/(株)セノン/東京総合警備保障株/トリンプ・スタッフ・サービス株/阪急阪神ビルマネジメント株/(株)フェローズ/(株)不二ユーティ/(株)ベネフィットジャパン/(株)毛髪クリニックグループ21	情報通信業	IIMヒューマン・ソリューション株/(株)インテリジェンス/共同コンピュータ株/サン・エム・システム株/三三株/東芝テックソリューションサービス株/日本企画株/日本システム技術株/富士通エフ・アイ・ピーDC株
		宿泊業、飲食サービス業	(株)稲取赤尾ホテル/(株)東急リゾートサービス/(株)梅の花/(有)久兵衛/(株)リンガーハット
		不動産業、物品賃貸業	(株)アットオフィス/(株)木下工務店/住商建物株/(株)大成住宅/明和地所株/(株)アクティオ/(株)丸昌
		建設業	(株)映像システム/積水ハウス株/(株)ドウデン/ボラス株/ゆとりフォーム株
		金融業、保険業	朝日信用金庫/足立成和信用金庫/第一勧業信用組合/第一生命保険株/明治安田生命保険(相)/日本興亜損害保険株
		マスコミ業	エン・ジャパン株/(株)グリッドレイ/ディップ株/日東エージェンシー株
		公務	防衛省 陸上自衛隊/警視庁/埼玉県警察本部/福岡県警察本部
		運輸業、郵便業	東京地下鉄株/東日本旅客鉄道株)大宮支社/ヤマト運輸株

役員等の状況

平成24年3月31日現在

理事

理事長：杉谷義純

学長：多田孝文

常任理事：若槻繁隆、岡本宣丈、吉田宏哲

相談役：里見達人

理事：榎本昇道、粕谷利通、疋田精俊、石上善應、小澤憲珠

監事 山田俊和、五十嵐賢二、鈴木中也、安孫子虔悦

評議員 29名(うち6名理事兼務)

顧問 4名



学校法人 大正大学 総務部

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1
 TEL 03-3918-7311 FAX 03-5394-3037
 E-Mail info@mail.tais.ac.jp